

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先 内線456
平成18年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名 平本 悟
平成19年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名 平本 悟
事務事業名	公共下水道維持補修事業				
予算上の事務事業名	公共下水道維持補修費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32630	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				
施策名	第3施策 下水道管理の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
下水道法第3条(管理)公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度	平成7年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
下水道施設の点検、調査を計画的に行い、異常を速やかに発見し維持補修する。計画的、予防的な維持管理を行い、施設の機能を確保し、その使用期間の延命を図る。				公共下水道整備済区域	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
汚水桝、取付管等の修繕、人孔蓋の修繕、マンホールポンプ施設修繕、管渠修繕、陥没等の対応。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
類似施設がある他市においても同様である。					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	3,049	13,602	13,602
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	3,049	13,602	13,602
人件費の合計	0	0	403	403	403
事業コスト合計	0	0	3,452	14,005	14,005
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	施設修繕料			対象名称 と単位	修繕件数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	3,452	14,005	14,005
対象数	0	0	8	10	10
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	431,500	1,400,500	1,400,500
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	3.25	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	施設補修件数	指標式と指標の説明	施設の補修		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	8.0		
目標	0.0	0.0	8.0	10.0	10.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	施設補修率（％）	指標式と指標の説明	補修件数/補修を必要とする件数 補修率の増減により施設維持の健全性をみる。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	10.0	10.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	] : 良好な状態を維持する事業			
	[	] : 概ね良好な状況である事業			
	[	] : 見直しを行う必要がある事業			
	[	] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市民が安全で安心して暮らせるよう、適切で計画的な維持管理を行い、機能保全を図るとともに施設の延命化を図り、緊急時の修繕に対応できる体制を維持する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 維持補修の実施及びデータ解析を行い予防に努める。			1 5 課題として認識されたこと 経年劣化に対する維持修繕費の増加が懸念される。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			